

# 課題挑む

技術士のソリューション

[46]

## POC試薬

インフルエンザ検査で広く知られるようになったが、POC（ポイント・オブ・ケア）患者の身近で迅速・簡便に実施される臨床検査の総称）と呼ばれる臨床検査薬が私たちの身近でこれほど多用されるとは、10年前誰が想像しただろうか？  
インフルエンザ治療薬



開発部長 牛澤 幸司 (生物工学部門)  
戦略企画部 積水メディカル株式会社

社会基盤④

## 医療トレンドの変化

が開発され、感染初期の投与により重篤化が防げることから、風邪とインフルエンザを鑑別することが必要になったためである。特に小児や老人では重篤化のリスクが高いことから、適切な検査による診断は欠かせない。

### 遺伝子の違い検出

感染症の臨床検査薬は厚生労働省のカテゴリーではクラスⅢに分類され、同省への申請承認が必要となる薬事的あるいは安

事者・患者に対する重要な使命となっている。一方、がん患者に対する抗がん剤の治療法は進歩の途上にある。中には効果は強いものの副作用を示す抗がん剤が知られている。また、副作用の出現あるいは症状の重さ

## 臨床検査薬で診断高度化

### 患者ごとの「個の医療」後押し

当社では1990年代後半よりインフルエンザ試薬の開発を進め、A型およびB型を鑑別する試薬とともにアデノ、ロタ、RSウイルス、Streptococcusなどの感染症項目の

は個々人によって違うことが知られている。当社では、特定患者の遺伝子のわずかな違いを検査することにより、そのリスクを予測する試薬として09年3月に国内初のヒト遺伝子検出試薬UGT1A1検出キットを世に送り出した。



従来より、ヒト遺伝子の解析によって「個の医療」が到来すると言われていたが、その先駆けとして「医薬品の処方」の選択を補助する初めてのケースである。欧米の製薬会社は積極的に副作用などの安全性に関する情報提供に取り組

る。前記の当社検査薬の2例は、最近10年間に起きた医療トレンドの変化を代表するもので、個の医療、エビデンス（根拠）

に基づき医療への変化を感じさせるものである。いずれも、ヒトの持つ体質の違いや、薬剤投与の有効性をあらかじめ検査するという医療の進歩に伴った診断ニーズを具現化した事例である。

### 社会的視点が必要

医療の一部を担う検査薬の開発においては、治療法の進歩とのかかわり合いの中で、技術革新と製品品質向上のため重要な努力がますます重要なものとなるだろう。企業内技術士としては企画・研究・開発のすべてのステップにおいて、医療領域に生じるさまざまなイノベーションを取り込み、医療へ貢献するといふ社会的視点が必要となる。 (水曜日掲載)